



# 桐生ロータリークラブ週報

2008年

国際ロータリー第2840地区 2007-2008年度 国際ロータリーのテーマ



## ROTARY SHARES

R.I 会長 ウィルフリッド J. ウィルキンソン

善意というものがないなら  
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。  
職業は金儲けのためでしかなく、  
社会奉仕というも施しにすぎず、  
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝樹

会長 佐々木 裕 幹事 森 末廣

クラブ会報・広報委員会 園田 誠・吉田 和夫・清沢 元喜

5月19日号

### 第2652回例会

(5月12日(月) 第1例会)

- |               |                       |
|---------------|-----------------------|
| 1. 点 鐘        | 8. 乾 杯                |
| 2. 国歌斉唱       | 9. 会長の時間              |
| 3. 桐生市歌斉唱     | 10. 幹事報告              |
| 4. 「四つのテスト」唱和 | 11. 委員会報告             |
| 5. 来訪者紹介      | 12. 卓 話 「桐生とユネスコ世界遺産」 |
| 6. ロータリー情報アワー | 桐生ユネスコ協会 副会長 北川 紘一郎 様 |
| 7. 結婚・誕生祝     | 13. 点 鐘               |

#### ようこそビジター

〈卓 話 者〉 桐生ユネスコ協会  
副会長 北川 紘一郎 様

〈米 山 奨 学 生〉 ヤオ, クアディオ・ジェマエル 君

#### ロータリー情報アワー

ロータリー情報委員会 館 盛治君  
今月のロータリー情報は、そろそろ年度末になり2008~2009年度の次年度が進行しつつあります。5月16日には次年度委員長会議があり、疋田会長エレクト・松島幹事も大変忙しくなると思います。会員の皆様、ご協力を宜しくお願いします。ところで年度末になると会員の入退会が頻繁になります。新年度迄にいくらかの増強をと推薦カードが提出されます。そんな折、私のところに起きたうれしい出来事についてお話をいたします。4月末突然大学の同窓よりTELをいただきました。桐生RCに是非入会したい人がいるので5月8日に入会予定者と3人で訪問をいただきました。1時間ぐらい話を聞きながら、その会社が地域に密着した奉仕活動の参加に力を入れている旨を理解出来、同行の社長も他の営業所所長も地域のRCの会員との事で、桐生の営業所の人を是非桐生RCに入会したいとの事でした。早速会員増強委員長に連

絡をとり、私が推薦者となり会長・幹事に連絡をして事務局にて推薦カードを記入しながら職業分類・会員選考委員長と話をし、5月12日の理事会に間に合わせて提出していただく事を幹事にお願ひした次第です。そこでいざ新会員候補者の推薦となりますと、クラブ細則第11条第1節に規定されていますが、推選手続きを経験したのは10年前の幹事時代でしたので改めて故石井省三P会長の著書、ロータリー役員必携にて新会員候補者の推選及び選挙の推奨手続きを読みました。ここで推奨手続きは6段階になっている6項目を今日はお話したいと思います。

- (1)推薦された候補者の氏名を書面を以って幹事を通じて理事会に提出する。
- (2)理事会は職業分類委員会に回付し同委員会に検討により職業分類上の適格性を附記して理事会に報告させる。又、会員選考委員会に対して同様の附記を求め理事会に報告させる。
- (3)理事会は職業分類委員会と会員選考委員会の勸

告を審査して承認・不承認を決定し幹事を通じて推薦者に通知する。

- (4)承認された場合は、推薦者はロータリー情報委員会の委員として同行して、被推薦者に対しロータリーの目なる、会員の特典と義務について説明しなければなりません。この場合に、入会申込書の提出とクラブ全会員に被推薦者の氏名を公表しても良い旨の承諾を得る事。
- (5)通告後十日間の異議申立期間をおく。異議がある者は文書により申立てることになる。異議なき場合は入会金を納入することによって会員に選ばれたものとなる。幹事は会員身分証明書を発行し、国際ロータリー事務総長に報告する。
- (6)クラブ例会において新会員として正式に紹介する。
- 以上が新会員候補者の推薦及び選挙の推薦手続きの順序のお話です。

### 結婚祝

下山嘉一郎君 43年	藤井 征夫君 42年
疋田 博之君 40年	坪井 良廣君 32年
山崎 達也君 31年	藤江 篤君 28年
近藤 一君 27年	月門 快憲君 26年
吉田 栄佐君 26年	森 末廣君 19年
前原 勝君 16年	木村 洋一君 11年



### 誕生祝

奥澤 公慶君 67歳
吉田 栄佐君 53歳
清沢 元喜君 52歳



### 会長の時間

このところ寒い日が続き今朝の気温は10℃少々で、とても平均気温とは遠い毎日です。呉々も体調管理にご注意下さい。大型の台風2号が近づいており、あさって14日の家族会の日帰り旅行の天候が気になります。

今日は3週間ぶりの例会となりますが、先月4月26日(土)は館林RC創立50周年記念式典が館林市ジョイハウスにて挙行され、森幹事と出席致しました。2:30より開会でしたので懇親会のフルコースのお料理に間に合わず羨ましそうに心残りをし乍ら帰宅し、その後の群大留学生との交流会に

出席致しました。当日は沢山の会員の参加を頂き、国際交流がはかられました。参加頂きました会員に感謝を申し上げます。

翌4月27日(日)は第2840地区ローターアクト第8回地区年次大会が高崎ビューホテルで開催され、森幹事・蓮地区ライラ委員長・須永新世代奉仕委員長と4名にて出席して参りました。

又、昨日の5月11日(日)は新田RC創立25周年記念式典が太田市ティアラグリーンパレスにて盛大に挙行されました。森幹事・蓮地区ライラ委員長との3名にて出席して参りました。祝賀会場にて横山ガバナーが来まして、お互いに残りが少なくなって大分肩の荷が軽くなりましたねと握手して挨拶をしてみました。

産休の飯田厚子さんが、4月29日に無事女子出産。3964gで、予定より11日遅れで母子共に健康だそうです。名前は彩音(あやね)ちゃん。会員の皆さんに呉々もよろしくとのことでした。

### 幹事報告

- 国際ロータリーよりロータリーレートの変更のご案内です。5月レートは、1ドル=102円です。
- 群馬県食品安全課より「ぐんま食育フェスタ2008当日企画参加者募集」のお知らせが届いています。
- 桐生市社会福祉協議会より「福祉ぐんま」と「ぐんまのボランティア」が届いています。
- 桐生南、桐生西、桐生中央、桐生赤城、群馬境、足利わたらせ、足利東の各RCより週報到着。
- 本日例会終了後、第11回定例理事会を開催しますので理事・役員の皆様は出席をお願いします。

### 委員会報告

#### 出席委員会

本日の出席(平成20年5月12日):総員68名・出席47名  
平成20年4月14日例会修正出席率:75.4%

#### ニコニコボックス

北川 洋君・養田 隆君・川島康雄君・竹内靖博君…桐生ユネスコ協会副会長北川紘一郎氏をお迎えして/吉野一郎君…ロータリーの友「内外よろず案内」にのりました/前原正一君…先日、縁あって野間会員のご尊父と出雲大社を参拝し、桐生の発展を祈ってきました。併せて隠岐の島にも行ってきました。/吉田栄佐君・前原 勝君・藤井征夫君・森 末廣君・藤江 篤君・木村洋一君・月門快憲君…結婚祝/吉田栄佐君・奥澤公慶君・清沢元喜君…誕生祝/吉野一郎君・矢野 昭君・北川 洋君・山崎一順君・疋田博之君・牛腸 章君・前原正一君・養田 隆君・金子篤郎君・吉田栄佐君・佐々木裕君・川島康雄君・前原 勝君・岸田信克君・野間義弘君・森 末廣君・藤江 篤君・大島武司君・本田雄一郎君・川村 隆君・石島久司君・園田 誠君・吉田和夫君・竹内靖博君・

桑原志郎君・柳 明彦君・奥澤公慶君・山上達也君・月門快憲君…写真いただきました。

## 卓 話



### 「桐生とユネスコ 世界遺産」

桐生ユネスコ協会 副会長  
北川 紘一郎 様

#### ○織物産業都市・桐生

「桐生」が織物産業都市として日本の近代化に貢献した功績は歴史上特筆すべきものがあります。特に「民間力」により織維関連業が桐生市全域に集積した形で発展し、群として現在に至っている姿は日本(世界)の中でも希有な都市であると言えます。今、次々とその貴重な姿が消えつつありますが、まだまだ独自の産業景観を持ち、そのソフトと共に蓄積されている稀に見る織物産業都市であります。私達はその高い評価を自覚し、活かして行くことが重要であると言えます。20年間活動を続けて来ましたが今だに市民の大きなウェーブとならないところに大きな問題があり残念なところがあります。平成17年('05年)に私達が全市内のノコギリ屋根建造物を調査したところ230棟ほど残存していることが判明しました。これと関連施設群などの織物産業遺産(近代化遺産・含現業)を含めると桐生は、まだ貴重な織物産業都市でありその形態を残していると言えます。

#### ○群馬県の動き

当初('03年8月)「富岡製糸場」単体をユネスコ世界遺産に登録しようという事から始まり、その後、絹産業遺産全体をシステムとして補えようという考え方から絹産業に係わる対象物件を全県に拡げ、産業遺産としてのそのストーリー性を持たせて継げたのが「富岡製糸場と絹産業遺産群」であります。これは群馬県が県としてこのような進め方を指向しユネスコ世界遺産登録に向ったのであります。その結果、'07年6月27日に県内10物件が群としてユネスコ世界遺産暫定リストに掲載されることとなったのであります。北関東一円の絹に係わる産業は超一級の絹産業生産地でありましたから当然ではあります。これらをまとめ、着実に世界遺産暫定リスト掲載まで運び世界的評価を得る段取りまで推めた県の推進室の努力は後世に残る功績であると言えます。しかし、この際にユネスコ世界遺産登録に対して県から推薦され提案を求められながらその提案を見送らざるを得なかった市町村もあり、現在は残念ながら全体としてのそのストーリー性や絹産業全体のシステム(養

蚕・製糸・織物)が整っていない状況下にあります。(例)屑糸紡績所(高崎)、鳥村養蚕農家群(伊勢崎)、生糸の流通(前橋)、織物関連(桐生・足利・伊勢崎他)、県外(足利・本庄・岡谷他)……。文化庁もこのところを指摘しております。

#### ○ハードルの高いユネスコ世界遺産

ユネスコ世界遺産は世界の(人類の)宝ものとして高い価値を持つものです。従って、登録のためには各国がきちんと、その保護政策を取って(持って)臨む事が求められております。例えば日本の場合、国重要文化財、国の史跡として重要伝統的建造物群保存地区、重要文化的景観、他省庁による保護として景観重要建造物あるいは特別な法解釈や法制定などの国による保護がそれに当たると考えられます。

#### ○「ユネスコ」の求めて(考えて)いること

ユネスコでは従来の世界遺産登録(文化)に見られるような記念物的な建造物への偏重からの是正による対象の拡大から伝統文化や産業遺産への評価基準の再認識「グローバルストラテジー」('94年)が示され、その中の一つの基準として①産業遺産②20世紀の建築物③文化的景観も明示されました。つまり、桐生の場合に置き換えてみると桐生はこの全てに該当する都市であり、特に全市的に織物(織維)産業遺産(含・現業)としての織物関連生産現場が全市域に点在している姿こそがユネスコの求めている普遍的な様式(形態)であると考えられます。それは本質的には生産現場のノコギリ屋根工場の建造物群であり、その関連施設群並びにそのソフトであります。そして本町1.2丁目に残る建造物群とその街並みは桐生の伝統を表わす歴史遺産であります。「桐生・世界遺産の会」では年々取り壊されて行くこれらのノコギリ屋根群や他の施設群を何とか国の保護下に置いて守ってもらいたいと考え運動してきましたが、課題としてテーブルに乗せて頂けないところが誠に残念であります。すでに取り返しのつかないところまで来てしまった状況であると思われれます。

#### ○足尾銅山と足尾鉄道と桐生

栃木県は日光がすでにユネスコ世界遺産に登録('99年)されていて先輩に当るわけですからそのノウハウを持って足尾銅山が産業遺産としてユネスコ世界遺産へ挑戦しているわけですから大いに期待される場所です。地域住民や政治家を含めすごい熱気です。桐生はそこから学ぶべきところがたくさんあります。桐生市は旧黒保根村や利根郡(根利道)などから旧足尾街道(122号)を通じて絹関係の物流があり、また旧足尾鉄道の終着(始発)駅、桐生として足尾銅山とともに絹産業との双方に大きく関わってきた主要な産業都市でありますから日本国の歴史上とても重要な位置にあります。

足尾銅山の世界遺産登録に向けての運動や努

方に密着に連携して、同じレベルで活動することがどうしても不可欠であります。桐生市民並びに行政の発起と実行・実践を強く要望するところです。

- 一大観光ルート(栃木県・群馬県・日光市・みどり市・桐生市・わたなせ鉄道・桐生観光協会他)本来ユネスコ世界遺産は観光振興や地域経済発展のための目的ではありません。しかし、日光・足尾をはじめ桐生やその周辺並びに群馬県内の絹産業遺産群が世界遺産に登録されるとなると足利市などや飛行機や工業集積の太田などを含め、これらを継ぐルートは大観光ルートとなることは目の前にあります。ノコ屋根のクリエイティブな活用など、新文化産業観光を視野に入れるとまさに物見観光と重複して国内外からの流入客があとを断たず、移住も増え超入り込みになることは間違いありません。「上州エクスプレス」など今からその備えと、その為の運動・活動を推めておくことは避けられません。即刻に標記の連携をスタートすべきであります。

#### ○桐生のむずかしさ

桐生の織物(繊維)産業遺産(含、現業)都市としての日本(世界)における価値は第一級であります。桐生が中心となって、この地域だけでも世界遺産登録へ向えるような価値を持っている、と言えるでしょうが、もとより群馬県は県内全体をシステムとしてストーリー性を持たせ、まとめようとしていますので、それに異存を示すものではありません。しかし「桐生」はそのくらい大きな歴史的重要性を持った織物産業都市である、という事です。

このことを良く認識・理解しながら今後どのように推進して行けば良いのかを慎重に考え行動する必要があります。間違わないように!。これらの事を踏まえて「桐生・世界遺産の会」が設立され活動が続けられております。現状や将来性を良く知り、重要で緊急なものから優先して打開策を講じて行くべきであります。

つまり、現在の本町重伝建推進はあくまでも桐生のまちづくりの中の一環でありここから優先してユネスコ世界遺産に継げるとなると、その他のさまざまな問題を放置することとなります。要するに、ユネスコ世界遺産としての絹産業遺産群(ストーリー)の中の「織物」の街「桐生」と捉えた場合には、「織物」関連現場である対象物件群が全市的に切り捨て、あるいは積み残しという事にもなり、ユネスコの考え方に沿わない事象が発生してくる事が予想されます。となると、ICOMOSから条件未整備である。という事で全県の対象物件とともに「NO」の判定の可能性も否定できません。この事は国にとっても重要な文化財行政課題であると思います。なぜならば、桐生の対象となる物件はほとんど民間であります。

「桐生・世界遺産の会」ではこれらについて純粋に、勉強会などを通じて、その本質や真理を追求して行き、理解を深めていただこうと活動しております。

#### ○桐生ユネスコ協会の努力

桐生ユネスコ協会では市の「文化祭」において'86年(昭61年)から「ユネスコ展」をスタートし、「桐生」という稀に見る織物(繊維)産業都市が「ユネスコ世界遺産都市に!」という夢を見つづ、'93年(平5年)からは積極的に活動を推めてきました。ユネスコ精神の本質や桐生の産業遺産の本質を見据えて純粋に推進して行こうとしています。このところが「ユネスコ」と「桐生・世界遺産の会」とが同調するところであり

ます。現在、市が実行している施策についても桐生市の針路を見極め、十分な検討を加えて行く事を提言いたします。後日のために。ユネスコ精神の下に活動しております。

#### ○「桐生・世界遺産の会」

織物(繊維)産業都市・桐生がユネスコ世界遺産登録を目指すにあたり、全市内に集積している織物(繊維)産業資産のハードとソフト力の全体が正しく評価され、それらが全体としてシステムで登録されるよう国へ要望・陳情をする事が先ず第一に優先して行わなければならない事があります。民間力では及ばない市(行政)の役割でありますので提言を続けて行きます。この為には市民運動力として皆様のお力添えがどうしても必要であります。何卒ご支援ご協力のほどお願い申し上げます。

#### 謝 辞

佐々木 裕君

一言謝辞を申し上げます。

本日は何かとお忙しい処、北川様には卓話を頂戴致しまして大変ありがとうございました。

桐生とユネスコ世界遺産について、少ない時間の中熱く語って頂き又、ご説明を頂きましてありがとうございました。日頃よりユネスコと言う言葉は時々耳にはしておりますが、少しは理解することが出来たかなと思います。今日のお話で桐生の将来はまだまだ努力をすることにより大きく期待が出来るとも思います。今後共、北川様のますますのご活躍を祈念致しまして謝辞と致します。大変ありがとうございました。

#### \* お知らせ \*

【次回例会予告】5月26日(月)卓話

・群馬県環境政策課

地球環境グループ 武田 将幸様

「アマゾン森林破壊とアマゾン群馬の森」